pick up

冬号のピックアップは、内部研修・障がい者アート展を掲載致します。

心理的虐待研修

11月21～23日に「心理的虐待について」の内部研修を行いました。心理的虐待を出さない為に、数名に分かれてのグループワークを行いました。各グループで様々な意見が挙がり、共通していた事が忙しい時などに起こりやすい・他の支援員に相談出来ない・業務の経験を積んでいく中で利用者との関係性も含めての慣れが生じやすいという事でした。虐待を起こさない為にも、研修を通して自分は無関係だという意識を持たず、自分にも起こりうることという自覚を持ち、忙しい時など自分の態度や行動を見直し、相手の立場に立って考えるという事を改めて意識していきたいです。今後も職員間で言い合えたり、フォローし合える環境を作ることを大事にして、利用者の方と向き合い、サービスの質の向上を目指して行きます。（記　伊藤徹）

障がい者アート展

12月日～7日足立区役所で**障がい者アート展**が開催されました。今年も多くの利用者がそれぞれのテーマで作品を出展しましたのでご紹介します。出展したメンバーは、足立区役所へ作品鑑賞へ行きました。少しですが、出来上がった作品と作っているところをご紹介します。

冬号は外出やイベント盛り沢山で、たくさんの記事をお届けしています。寒さも本格的になりましたが、寒さに負けず冬を乗り越えたいですね！！　（記　須賀）

もっちりもっちり 冬号

発行元：社会福祉法人あいのわ福祉会　竹の塚あかしあの杜　広報委員会
〒121-0813東京都足立区竹の塚7-19-11　ＴＥＬ：03-5654-7731（代）
ＦＡＸ：03-3859-6655

新年あけましておめでとうございます！

施設長よりご挨拶

旧年中は大変お世話になり、心よりお礼申し上げます。
過疎・過密の地域間格差、人口の減少と少子・高齢化等、社会構造の変化が急速に進展する中、社会福祉制度もめまぐるしく変化してまいりました。とりわけ、社会福祉法の改正により、地域の一員として社会福祉法人が果たすべき役割を強く求められるようになり、「地域共生社会の実現」が様々なところで議論されています。
社会福祉法人がこれまで以上に地域に目を向け、地域の中で存在感を高めて活動し、地域において果たす役割と存在の意義を考えていかねばならないのだと思います。
地域において施設が求められているニーズは何かをしっかりと理解し、求められるニーズへ対応することが重要なのでしょう。
あいのわ福祉会においても、「地域における公益的活動」基本指針を取りまとめ、あいのわ福祉会の公益的活動について積極的に情報を発信し、地域社会にサービスが広がるように努めています。
障がい者支援施設で培った専門性を地域にどのように還元するのか、私たち一人ひとりが「地域における公益的な取り組み」においても専門性を発揮することが必要になっているのだと思います。
さて、竹の塚あかしあの杜の今年の大きな取り組みとして、施設の大規模改修工事が挙げられます。施設開設後、12年が経過しようとするなか、設備の様々な箇所に老朽化が見られるようになりました。利用者の皆様にとって快適な環境を提供できるよう、空調や入浴設備の改修、リフトの増設置等を予定していますが、改修期間に6か月を要します。この間の利用者の方々の生活に配慮しつつ、できるだけ負担のないよう慎重にサービス提供体制の整備を図ってまいりたいと考えています。
本年も利用者の皆様が安心して当施設をご利用いただけるよう、安全なサービス提供に努め、皆様に必要とされる施設として、この地に存在していきたいと願っております。今後とも、皆様のご指導、ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。
平成31年が皆様にとりまして良い年になりますことをお祈りしつつ、新年のご挨拶とさせていただきます。

（記　三瓶善衛）

本誌掲載の写真・個人名の使用については個人情報に基づき、ご本人の許可をいただいております。

きずなより

★ きずな旅行

12月10日～12月11日に1泊2日で**静岡旅行**に出かけました。イルミネーションを見に行く為、午後から出発し、夕方に静岡県御殿場市にあるホテル時之栖に到着しました。それぞれ支度を終え、イルミネーションを見に園内を回りました。みどころは一富士二鷹三茄子のフォトスポットと高さ150メートルまで水があがる噴水です。皆さん普段なかなか目にする事がないイルミネーションの世界に酔いしれていました。その後の宴会では、豪華な食事にお酒が進み、締めのカラオケでは自慢の十八番を熱唱していました。翌日は、朝食会場の8階から望む、雲一つない美しい富士山はただ圧巻の一言。観光中は天気にも恵まれおいしい海の幸やきらびやかなイルミネーションを見る事ができて思い出に残る静岡旅行となりました。（記　佐々木智）

★ 利用者企画イベント

12月23日（日）に利用者企画イベント**「忘年会」**を行いました。
始めに、今年1年間実施したイベントや行事などのスライドショーを鑑賞し、「また、お花見をしたいな」や「旅行楽しかったな」など利用者同士での会話が弾んでいました。　ゲームでは、イントロクイズを行い、昭和と平成の曲を順番に流していき、グループごとに競いました。歌っているアーティストやアニメなどを当てた時には、各グループから大きな歓声が上がっていました。
今回のイベントも利用者の方と職員で企画しながら、内容を決めました。今後も、皆さんが楽しめるようなイベントを沢山企画していきます。
（記　佐々木章）

※ボランティアさん募集：年齢・性別・経験は問いません。興味のある方、楽しみたい方、24時間365日募集しています。

車椅子講座

11月22日、近隣の西保木間小学校4年生を対象に「車椅子体験講座と施設見学」を実施しました。竹の塚あかしあの杜はどのような施設なのか、どのような方々が生活をしているのか、車椅子とはどのような物なのかを知っていただけるきっかけになればと考え、学校に相談させて頂き、実現する事ができました。
車椅子体験講座では、初めに車椅子はどんなものなのか、どのような種類があるのか等の説明をしました。その後、実際に乗車する人と車椅子を押す人でペアに分かれて車椅子の体験をして頂きました。車椅子体験のコースでは、段差やスロープの他に、マットを敷いてぬかるんだ道や床に棒を何本か貼り、でこぼこ道を表現しました。実際に体験して頂いている時には『進めない』『どうしたらいい』など話をしている場面もありました。また、体験後には『怖かった』等の意見もありました。
施設内の見学ではトイレに設置されたリフトや機械浴の説明をしました。その後は、利用者との交流の時間を設ける事で生徒さんだけでなく、利用者からの質問、旅行に行ってきたこと、好きな物の話などがあり、笑顔あふれる時間を共有する事が出来ました。
今回のように竹の塚あかしあの杜がどのような施設なのか、車椅子を利用している方は、どのような道や環境に難しさを感じるのか等を生徒の皆様に知って頂くことができました。
（記　地域交流委員会）

のぞみより

☆ ペットボトルキャップアートの取り組み

竹の塚あかしの杜のぞみでは、活動の一環で「ペットボトルキャップアート」の作成を行っています。皆でペットボトルのキャップを集めて、文字を作成したりイラストを作成しています。
作成～完成までの取り組みの様子を下記QRコード（またはURL）からスマートフォンで閲覧可能となっております。
現在は、黄色のキャップが不足しており、今月から近隣の保育園様にも協力を頂き園内にキャップ箱の設置をさせて頂いております。（記　大津）

http://www.ainowa.or.jp/nozomi2/cyap/